機能水ニュースレター　　No. 106

2022 年 3 月 4 日発行　一般財団法人機能水研究振興財団　編集担当 堀田国元・本間茂・中藤誉子

協力：日本機能水学会・（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8　Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp　ホームページ: http://www.fwf.or.jp

報告：

第 83 回ウォーター研究会. 1
ATP・迅速検査研究会 定例講演会. 1

お知らせ：

第 23 回日本口腔機能水学会学術大会・市民公開講座. 2
市民公開講座「ウイズコロナ生活と感染対策」. 3
生物安全実践講習会第 1 回実践コース B. 4

機能水関連カレンダー

第 23 回日本口腔機能水学会学術大会	2022 年 3 月 26～27 日（土～日）	北海道自治労会館（札幌）
市民公開講座：ウイズコロナ生活と感染対策	2022 年 3 月 27 日（日）	同上
生物安全実践講習会実践コース B	2022 年 6 月 15～16 日（水～木）	iMEP（滋賀県草津市）

＜第 83 回ウォーター研究会セミナー＞

ハイブリッド開催を予定であったが、年明けとともに急激に拡大した第 6 波のコロナ禍のためにオンライン開催となった。50 余名が参加した。

開催日： 2021 年 2 月 5 日（土）13:30～16:30 WEB 開催（起点：機能水研究振興財団）

講演： 1. 機能水を巡る動向 2021-3:　堀田国元・本間茂・中藤誉子 （(一財）機能水研究振興財団）

2. リアルタイム有効塩素濃度測定のための BDD 電極センサーの開発　両角 久 （㈱コスモテクノ）

3. アルカリ性電解水の活用： コインランドリーにおける展開　高梨健太郎　（㈱wash-plus）

4. 腸管粘膜免疫とアルカリイオン水：　東村泰希先生（石川県立大学生物資源環境学部食品科学科准教授）

5. 新たに医療機器認可を獲得した手指消毒装置について： 石渡幸則 （ホシザキ㈱）

＜ATP・迅速検査研究会： 第45回定例講演会＞

HACCP 制度化で現場の衛生管理はどう進化すべきか？

2月15日(火)に月島社会教育会館にてハイブリッド開催され（会場約30名、WEB100名）、以下の興味深い講演が行われた。

基調講演：「微生物検査の基礎知識～現場でよくあるQ&A～」：
（一財）東京顕微鏡院食と環境の科学センター　森　哲也

講演1：　「食品施設におけるHACCP運用～適切で効果的な洗浄殺菌のために～電解水とATP拭き取り検査の活用」
（一社）日本電解水協会　　金盛幹昌

講演2：「HACCPの義務化によって監視・指導のあり方はどう進化すべきか？」
（公社）日本食品衛生協会常務理事　加地祥文 （元厚生労働省生活衛生局監視安全課長）

講演3：「次亜塩素酸水とは何か： その科学、製造技術、使用技術、法的位置に関する基礎知識」
（一財）機能水研究振興財団　堀田国元

＜第 23 回日本口腔機能水学会総会・学術大会＞

― 多角的な視点から機能水を考える ―

会　期:　令和 4 年 3 月 26 日(土)午後、27 日(日)終日
会　場:　札幌市北区北 6 条 7 丁目 5-3　北海道自治労会館(JR 札幌駅近く)
開催方式:　ハイブリッド(会場50名、Zoom)
大会長:　舞田健夫(北海道医療大学歯学部　高度先進補綴学分野　教授)
主　催:　日本口腔機能水学会
後援・共催:　日本機能水学会、(一財)機能水研究振興財団、北海道医療大学

【口演申込】 締切済(2 月 28 日 (月))

【参加申込み】
日本口腔機能水学会 HP(http://www.kinousui.com/meeting/recent.html)より
会員・日本機能水学会会員:　7 千円 (事前 6 千円: 3 月 18 日振込分まで)
非会員:　1 万円 (3 月 18 日まで)、学生: 3,000 円 (3 月 18 日まで)

大会事務局
準備委員長:　田村　誠
事務局住所:　北海道医療大学歯学部　高度先進補綴学分野
〒002-8072　北海道札幌市北区あいの里 2 条 5 丁目
TEL 011-778-7558、e-mail:kinousui2022@ml.hoku-iryo-u.ac.jp

プログラム

3 月 26 日(土)

15:00～15:50	理事会		
16:00～16:10	開会挨拶	大会長:	舞田　健夫(北海道医療大学歯学部)
		学会長:	西田　哲也先生(日本大学歯学部　歯科保存学第Ⅲ講座)
16:10～17:10	教育講演Ⅰ	座長:	舞田　健夫(北海道医療大学歯学部)
	講師:	堀田　国元先生(一般財団法人機能水研究振興財団)	
	「コロナ禍における次亜塩素酸水をめぐる光と影」		

3 月 27 日(日)

9:30～9:40	大会長挨拶:	舞田　健夫(北海道医療大学歯学部)	
	来賓挨拶:	堀田　国元先生(一般財団法人機能水研究振興財団)	
9:40～10:40	特別講演	座長:	西田　哲也先生(日本大学歯学部　歯科保存学第Ⅲ講座)
	講師:	村田　勝先生(北海道医療大学歯学部　口腔再生医学分野)	
	「酸性電解水と超音波スケーラーによる骨誘導処置」		
10:45～11:30	一般口演	座長:	岩本　宏先生(兵庫県　岩本歯科)
11:30～12:00	企業ブリーフィング	座長:	川上　智史先生(東北大学大学院歯学研究科口腔解剖学分野)
12:00～12:30	総会		
12:30～13:30	昼食		
13:30～16:00	**市民公開講座　～　ウィズコロナ生活と感染症対策　～**		**次頁参照**
16:00	閉会式	次期大会長挨拶　網中　雅仁先生(くらしき作陽大学食文化学部)	

市民公開講座：2022 年 3 月 27 日(日)

「ウイズコロナ生活と感染対策」

日本口腔機能水学会・機能水研究振興財団・北海道医療大学 共催

新型コロナウイルス感染症の流行は、さまざまな教訓と生活上の変化をもたらしています。オミクロン株の感染拡大（第 6 波）により、今や「ウイズコロナ生活」が新常識となっています。北海道では、「道民の命と暮らしを守る」ために「感染防止対策の徹底」をウイズコロナの出口戦略に掲げています。そのためには一般市民がコロナウイルスと感染防御に関する的確な基礎知識を学び、フェイクニュース等に惑わされないよう「知識ワクチン」を身に着けることが大切です。そこで、日本口腔機能水学会では、第 23 回学術大会を札幌で開催する機会に、一般財団法人機能水研究振興財団および北海道医療大学の協力を得て標記の市民公開講座を下記要領で開催することになりました。多数の方々の参加をお待ちします。

日時： 2022 年 3 月 27 日（日）13:30～16:00（2 時間 30 分）
会場： 北海道自治労会館（札幌市北区北 6 条西 7 丁目 5-3）
主催・共催：日本口腔機能水学会・（一財）機能水研究振興財団、北海道医療大学
後援： （公財）ルイ・パストゥール医学研究センター
コーディネーター： 舞田健夫（北海道医療大学歯学部教授）
堀田国元（一般財団法人機能水研究振興財団理事長）
開催形式：ハイブリッド開催 会場 50 名（感染対策のため人数制限）と WEB（オンライン）

参加申込み：無料。3 月 24 日までに QR コードまたは下記 URL からお願いします。
https://forms.gle/kj7DaEtBmYy33VVt6
※第 23 回日本口腔機能水学会学術大会参加者は参加申込み不要です。

問合せ先： 田村 誠（北海道医大学歯学部 高度先進補綴学分野）
e-mail: kinousui2022@ml.hoku-iryo-u.ac.jp TEL 011-778-7558

＜プログラム＞

13:30 主催者あいさつ： 舞田 健夫 （日本口腔機能水学会理事・北海道医療大学教授）

13:35 講演 1. 感染対策の基礎知識
堀田 国元 （元国立感染症研究所室長・（一財）機能水研究振興財団理事長）

14:00 特別講演：ウイルス感染症の基礎知識～新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス～
喜田 宏 先生 （北海道大学ユニバーシティプロフェッサー・
人獣共通感染症国際共同研究所 特別招聘教授 統括）

14:45 休憩

14:55 講演２．感染対策の実践的講習会について
本間 茂 先生（機能水研究振興財団常務理事）

15:15 講演３．歯科領域における感染対策
佐藤 勉 先生（日本口腔機能水学会前理事長・東海大学医学部教授）

15:50 総合質疑応答

16:00 閉会

＜生物安全実践講習会のお知らせ：　第１回実践コースＢ＞

（公財）ルイ・パストゥール医学研究センターと（一財）機能水研究振興財団の共同公益事業である生物安全実践講習会の第 1 回実践コース B の開催を下記のように予定しています。、

対象者：　病原体や病原体汚染材料を能動的に取り扱う方、またはそれらの教育・指導に関わる人たち。

感染対策：　検温、手指消毒、N95　マスク装着、三密回避、隣間距離確保、換気、CO_2 濃度チェックなど

募集：　定員 32 名。応募はルイ・パストゥール医学研究センターのホームページから受付。

問合せ：　機能水研究振興財団　kinousui-zaidan@fwf.or.jp

期日：　2022 年(令和 4 年)6月15・16日（水・木）　2 日間（終日）

会場：　医療研修施設 iMEP（ニプロ社）　　滋賀県草津市（JR 湖西線京都駅より新快速で 17 分南草津駅下車徒歩 3 分）

【第一日】 6 月 15 日（水）　9:30～17:00　（予定）

ガイダンス：　堀田国元　（一般財団法人機能水研究振興財団理事長）

実習 1：　マスク装着・手指消毒（講義と実習）：　興研株式会社・サラヤ株式会社

座学 1：　感染制御概論　　藤田直久先生　（京都府保健環境研究所長）

座学 2：　ウイルス感染とその制御法　　松浦善治先生　（大阪大学感染症総合教育研究拠点拠点長）

特別講演：　感染症対策の実際～感染症法制を通した対策～

野田博之先生　（内閣官房　新型コロナウイルス感染症対策推進室企画官）

座学 3：　医薬品製造における安全対策と GMP　　佐々木次雄先生　（元国立感染症研究所細菌第二部室長）

座学 4：　遺伝子組換え生物等の利用と安全対策　　辻井栄作先生　（京都大学研究推進部　研究規範マネジメント室）

座学 5：　One Health からみた動物および環境由来薬剤耐性菌の現状と課題　田村豊先生（酪農学園大学名誉教授）

座学 6：　ワンヘルスと食のリスクマネジメント　　本間　茂先生　（一般財団法人機能水研究振興財団理事）

【第二日】 6 月 16 日（木）　9:00～17:00　（予定）

座学 7：　遺伝子関連検査と安全対策　　林邦彦先生　（（株）池田理化/ PCR 感染症検査研究会）

実習 2：　病原体の梱包と輸送の安全対策（講義と実習）

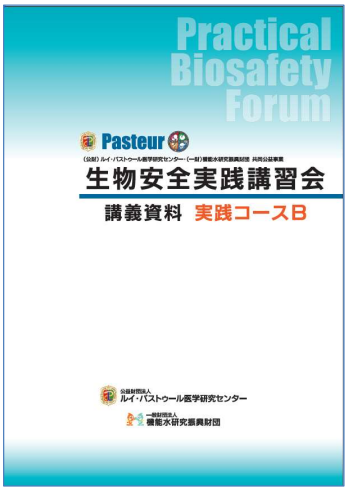
伊木繁雄先生（国立感染症研究所安全実験管理部主任研究官）・鹿住祐子先生（国立感染症研究所）

実習 3：　安全キャビネット・クリーンベンチ・個人防護具の取扱い（講義と実習）

吉澤重克先生（元千葉県家畜衛生研主幹）・関口勝美先生（㈱アルバーネット/BSL 施設管理指導者）

木ノ本雅通先生　（元国立感染症研究所主任研究官）

総合討論、理解度確認・認定試験



講習テキスト 150 頁